

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	① 曾根町町内会に入会し、通学時ホーム前を通る小学校児童に声かけしたり、敬老会等地域の行事へも積極的に参画している。食材も地域の八百屋さんに発注、配達を依頼している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	① 開催回数・参加委員等規定どおり開催されている。家族には交代で出席を依頼し1家族に偏らないよう配慮している。 ② スプリンクラー取り付けの説明をしたり、出席家族からの些細な質問や疑問にも丁寧な説明と対応がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	① 生活保護利用者の介護保険等申請や相談で担当高齢福祉課に訪問する機会に、情報の交換もしている。生活保護利用者を訪ねてくる民生委員には、近況を報告している。 ② 市主催の研修会にも毎回参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	② 運営推進会議の場と、家族の来訪時を活かして、情報の交換と意見収集に努め、家族意見が反映するようにしている。 ③ 現在ホーム便りは検討中であるが、イベントのお知らせ等には、参加の声かけを意図した担当者が一筆書くことを追加している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>軽減要件に求められる項目は、上記の通り完全実施が為されていた。特にホームとして家族との関係作りには、運営推進会議参加への配慮や要望の把握には神経を使っていることが窺えた。</p>
--

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。